

受賞報告 藤井皓介研究官が 令和八年度内田奨励賞を受賞

藤井皓介研究官が、2026 年 5 月 30 日に 日本火災学会から令和八年度内田奨励賞を授与されました。

内田奨励賞は、火災学の発展に大きく貢献した内田祥三氏の功績を記念して 1994 年度に制定された賞であり、将来性に富む新進の火災に関する研究・技術・実務に携わる者を対象に授与されます。

受賞内容 大規模施設の避難安全に関する実証的研究

受賞者 藤井 皓介

<研究概要>

多数の在館者を有する大規模施設で避難が発生した場合、屋外に続く出口等の安全な場所に向かわせる必要があります。混雑予測および避難誘導対策は重要なものとなる。藤井研究官は大規模複合化、高層化する建築物において懸念される避難時の混雑や逃げ遅れに起因する人的被害を防ぐため、被験者実験による実証的な研究を実施してきた。大学院在籍時から現職まで、群集流動や避難誘導を中心に避難行動に関する課題に対し、調査、実験、シミュレーションといった各種手法を用いて長年継続して取り組んできた。課題の検証を実現する高度な実験手法と詳細な流動および統計に関する解析技術をもとに対象業績においては被験者実験を用いた実証的研究を行っている。

また、実空間では再現が困難な空間について VR 技術を用いて再現するなど、新しい技術を積極的に取り入れ検討対象の幅を広げている。建築・消防防災の制度や実態について専門的知識・知見を有し、多角的な視点に基づき新たな観点から火災避難の研究を進めており、今後も研究の発展と火災科学への貢献が期待される。

以上のように、藤井研究官は大規模施設における群集流動、避難誘導に関する課題を、広い視野と高度な研究能力のもと実証的に明らかにしてきた。

